

葉山町における各小・中学校及び葉山保育園の土壌測定結果について

葉山町では、放射線量を消防庁舎で毎日、各小・中学校及び葉山保育園については週1回(木曜日)測定し、ホームページで公表しています。

また、6月23日(木)には、各小・中学校のグラウンド及び保育園園庭の土壌を採取し、放射能(核種)検査を実施しましたので、その結果についてお知らせします。

調査日	採取時間	調査場所	土壌放射能(Bq/kg) ベクレル			
			放射性ヨウ素	放射性セシウム		合計
			ヨウ素131 (I-131)	セシウム134 (Cs-134)	セシウム137 (Cs-137)	
6/23	10時45分	葉山小学校	不検出	37	44	81
6/23	9時40分	上山口小学校	不検出	46	60	106
6/23	10時25分	長柄小学校	不検出	56	63	119
6/23	9時15分	一色小学校	不検出	30	32	62
6/23	11時15分	葉山中学校	不検出	61	74	135
6/23	10時05分	南郷中学校	不検出	37	47	84
6/23	11時35分	葉山保育園	不検出	21	28	49

注1) 原子力安全委員会が定めた飲食物制限に関する指標値

放射性ヨウ素 300Bq/kg(ベクレル) (乳児100Bq/kg(ベクレル))

放射性セシウム 200Bq/kg(ベクレル)

注2) 原子力災害対策本部が発表した水田土壌中の放射性セシウムの上限値は5,000Bq/kgです。

参考) 飲食物に関する暫定規制値について

原子力安全委員会が設定した指標値を厚生労働省が暫定規制値としたものです。

暫定規制値の2,000Bq/kgの放射性ヨウ素が検出されたホウレンソウを、生で1kg(1,000g)食べた場合の人体への影響は、胃のエックス線集団検査を1回受診した場合の人体への影響の約1/19です。国民健康・栄養調査(平成20年)によると、ホウレンソウの1日あたりの平均摂取量は、18.2gです。

暫定規制値の300Bq/kgの放射性ヨウ素が検出された牛乳を、1kg(約1リットル)飲んだ場合の人体への影響は、胃のエックス線集団検査を1回受診した場合の人体への影響の約1/125です。国民健康・栄養調査(平成20年)によると、牛乳の1日あたりの平均摂取量は、82.7gです。